

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
1	(6番議員) 加賀山 瑞津子	1 避難行動支援の現状と課題について	令和2年度豪雨災害の教訓を踏まえ本町の避難行動支援と避難所運営の実効性について、高齢者や要避難者に対する個別避難計画の運用状況、避難情報の伝達方法、夏季の熱中症対策を含めた避難所環境整備等の現状と課題について問う。	町長 教育長
		2 DX推進と情報弱者への対応について	行政DX推進が進む中、スマートフォンやオンラインサービスの利用が困難な住民への支援について問う。 また、災害時の停電や通信障害も想定し、防災無線、紙媒体、地域連絡網などアナログ手段を含めた情報伝達体制をどのように維持・活用していくのか町の考えを問う。	町長
		3 食を通じた地域づくりについて	熊本県が掲げる「食のみやこ熊本」の理念を踏まえ、食を通じた地域づくりについて。特に災害時における地域内の食料確保や備蓄体制、地元生産者との連携など、防災面での取り組みや地元食材の活用による農業振興や地域経済活性化、地域ブランド化への取り組みをどのように進めていくのか、町の考えを問う。	町長
2	(5番議員) 難波 文美	1 国民健康保険税の一本化が住民負担に及ぼす影響について	国民健康保険制度は財政の安定化と持続可能性の確保を目的として、県が財政運営の中心となる「県単位化」が進められてきた。 しかし近年、県による標準保険料率の一本化が進む中で多くの懸念がある。特に、高齢者の多い地域では、医療費の増加と保険料負担の増加が同時進行となるため、生活への影響は深刻である事に鑑み、以下の点を問う。 ① 県による国保の標準保険料率の一本化により、本町の住民が負担する保険料が現時点でどの程度増減するかについて ② 高齢者世帯・低所得者世帯などへの影響の町としての分析について ③ 複雑な国保のしくみは住民にとって理解されにくい状況であるが、制度変更の周知方法は十分であるかについて ④ 県の一本化で市町村の裁量が縮小し、地域の実情に応じた対応が難しくなる懸念があるが、町としての役割をどのように確保し、県にどのような意見を伝えているかについて ⑤ 今後も上昇していく標準保険料率に住民負担を緩和するための町独自の施策を検討する考えはあるかについて	町長
		2 官民連携による過疎自治体の再生とその推進における町の認識について	人口減少に歯止めをかけ、大都市圏への過度な一極集中を是正することで、全ての国民が多様な幸せを実現する社会を目指す取り組みとして始まった『地方創生』から10年が経過した。 しかし現実には、あさぎり町を含む人吉・球磨地域において、年を追うごとに人口減少が加速している。そのような中で、自治体が生き残るための有効な手段として『官民連携』という手法がメインストリームとなってきた。 現在、町が直面している課題と官民連携を推進する際の認識について、以下の点を問う。 ① 本町の人口減少・財政状況・施設者老化を踏まえ、行政単独で公共サービスを維持する事について ② 官民連携を活用すべき優先分野とその効果について ③ 官民連携を推進する際のリスクや留意点の認識について ④ 官民連携の検討・導入にあたり、住民参加や情報公開を確保する方法について ⑤ 地域おこし協力隊の現状と活動について	町長

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
3	(1番議員) 小松 英一	1 球磨・人吉地域の広域的課題への取り組みについて	<p>10市町村という複数の自治体が共存する地域が抱えている共通の課題について、町村会や広域行政組合、その他の個別の組織において、それぞれの首長が意識の共有を図り、実行に移すことが迅速かつ有効に行えているのか。現状と今後の在り方について問う。</p> <p>① 地域内の共通課題に対する取り組みの現状について</p> <p>② 山積する課題に対する取り組みと組織体制について</p> <p>③ 将来に向けた地域内の課題解決のための意識の共有と事業展開、今後の展望について</p>	町長
		2 地域型スポーツクラブや文化活動、中学校部活動における児童・生徒の安全の確保について	<p>子どもたちが心身ともに健全に成長し、社会性や人間関係を育むとされる、スポーツや文化活動時の児童・生徒の安全性の確保が、適切に行われているのかについて問う。</p> <p>① 中学校の部活動だけでなく、地域型スポーツクラブや文化サークル等の活動時における安全面での対策について</p> <p>② 各種大会への参加時の引率者の役割と責任の所在について</p> <p>③ 普段の練習時における移動の際の事故等への対応について</p> <p>④ 安全面での不安要素と課題解決のための今後の取り組みについて</p>	町長 教育長
4	(11番議員) 皆越 てる子	1 町道の整備について	<p>町道を見てみると、道路を安全かつ快適に保つための、維持保全が適正に整備されているのか、目立って、中央線・外側線・車線境界線等の白線の枠だけが残り、消えているところが多く見受けられるが、白線の引き直しについての計画等について問う。</p> <p>① 地区・町民からの要望件数について</p> <p>② 優先順位について</p> <p>③ 本年度の予算について</p>	町長 教育長
		2 町指定のごみ袋について	<p>マスコミ等によると、町指定のごみ袋不足が報道されている。また新聞等では、自治体指定ごみ袋「買いだめ控えて」という記事が掲載され、環境省の調査では、昨年と同程度の量を継続的に供給できるという事だが、町としての考えについて問う。</p> <p>① 昨年同様の確保について</p> <p>② 大・小・燃えない袋の使用割合について</p> <p>③ 価格について</p>	町長
		3 生涯学習施設使用料について	<p>上校区公民館施設使用料が、当初予算で計上されているが、対象者等を問う。</p>	教育長

令和8年度 あさぎり町議会 第2回会議(6月定例会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
5	(4番議員) 岩本 恭典	1 道路交通法改正に伴う自転車通学の安全対策と通学路整備について	<p>令和8年4月施行の道路交通法改正により、自転車利用者に対する交通違反の取締りが強化された。中学生は青切符制度の対象外ではあるが、警察による指導・警告・保護者連絡、悪質な場合の補導等の対象となり、重大事故では民事上の損害賠償責任や保護者責任が問われる可能性もあるが、以下について問う。</p> <p>① 道路交通法改正を踏まえた中学校における自転車通学の安全対策に関する認識について</p> <p>② 中学校周辺及び通学路における自転車通行環境(通行帯・路側帯等)の整備状況と課題認識について</p> <p>③ 家庭との連携による安全教育について</p>	町長 教育長
		2 くま川鉄道全線運行再開を契機とした観光振興について	<p>令和2年7月豪雨災害で被害を受けたくま川鉄道の全線運行再開が9月20日に予定されているが、以下について問う。</p> <p>① 本町の観光振興及び地域活性化の機会としてこの全線開通の位置付けについて</p> <p>② 再開イベントに係る予算及び情報発信のあり方について</p> <p>③ 駅資源を活用した観光コンテンツの創出について</p> <p>④ 継続的な誘客と観光施策の展開について</p>	町長
		3 ふるさと会(関東会・関西会・中部会)の活性化および若年層参加促進について	<p>あさぎり町には、関東会・関西会・中部会の3つのふるさと会があり、これまで町出身者同士の交流や、ふるさととのつながりを維持する大変重要な役割を担ってきた。しかし、設立から年数が経過する中で、役員や会員の高齢化が進み、会員数の減少により今後の存続が危惧される状況にあると考えるが、以下について問う。</p> <p>① 現在それぞれの会の活動状況と会員減少に対する町の対策について</p> <p>② 総会等における地元からの出席者について、教育長や区長などが参加し、地域の現状や取組を伝えることは有意義と考えるが、出席者の選定や内容について町の考えについて</p> <p>③ 従来の総会・懇親会形式に加え、若い世代が参加しやすい魅力ある企画の必要性について</p> <p>④ あさぎり町の若い職員がふるさと会に出席し都市圏の友人・知人への参加呼びかけを行う人的ネットワークの活用も有効と考えるが、町の考えについて</p>	町長
6	(7番議員) 橋本 誠	1 防犯対策について	<p>地域の住民の安心と安全の為に防犯灯(街路灯)、防犯カメラを設置しているが、町の防犯対策について問う。</p> <p>① 現状と課題について</p> <p>② 小中学生の安全と安心を守るため、防犯カメラの設置対策について</p> <p>③ 町民の防犯対策への意識の向上について</p>	町長 教育長
		2 道路交通法の改正に伴う自転車運転に関する対応について	<p>道路交通法の改正で、本年(令和8年)は自転車への交通反則通告制度(青切符)や車から自転車への追い抜き新ルールが4月1日に施行されたほか、9月1日には生活道路の法的速度が30Km/hへ引き下げられる。</p> <p>この事を踏まえて、町民への周知方法、特に児童生徒及び高齢者への対応はどの様に行っているのか問う。</p> <p>① 通学路の現状と課題について</p> <p>② 町の周知について</p> <p>③ 学校での注意喚起について</p>	町長 教育長

質問順	質問者	質問事項	質問要旨	質問の相手
7	(2番議員) 加藤 弘	1 人口減少対策について	<p>① 人口減少が予想より早いスピードで進んでいるので、危機感を感じている。直近の本年4月1日時点での「学校区別児童生徒数」(未就学)の状況を見て、教育行政面からどのように感じたか。 また、教育行政の今後の施策の大綱と、行政面から見た人口減少対策の、今後の大綱を問う。</p> <p>② 小中学校で学ぶキャリア教育の概要について、「中学生議会」での質問や提言等を受けてどのように感じ、提言等に伴い実施された事業及びその効果を問う。</p> <p>③ 高校生が都市部へ進路を求める理由等状況の把握や、進路を決める時期の高校生の意見を、町づくりに反映しているのか、これからのあさぎり町を担う高校生との意見交換的なことは必要ではないか問う。</p> <p>④ 既に地元に残っておられる若い人達の提言等を活かしたビジョンも必要ではないか。学生や若い人達の考え方は、私達と大きく乖離している箇所もあるかもしれないが、これからのあさぎり町を担う人達の考え方であり、夢を持っておられるので、その考え方を政策に活かせないか問う。</p>	町長 教育長 町長 教育長 町長 教育長 町長
		2 物価高騰対策について	<p>① 町として、昨年度の物価高騰対策を、どのように評価しているか問う。</p> <p>② 中東情勢の混乱の長期化による物価高騰対策について、国では6月補正を検討している。町でも、独自の更なる物価高騰対策が必要ではないか問う。</p>	町長 町長
8	(12番議員) 溝口 峰男	1 町道免田駅前通り線、久鹿二子線の優先整備について	<p>令和4年に駅前周辺整備基本構想ができて4年になる。構想の中に両線も改良計画の一つになっているが、一步も進んでいない。全体整備に合わせて改良する考え方もあるが、駅前広場は町の顔であり、両線は町の中心を活性化するうえにおいて要となる道路である。 線路北側住民のポッポー館利用の利便性は高まり、逆に庁舎に行く住民も、くまがわ鉄道踏切を拡幅することで、利便性は更に高まる。 以後、周辺整備を具体的に進めるきっかけにするために、まずは、両線の改良を優先し整備することはできないか問う。</p>	町長
		2 「ハナミズキ」のシンボルロードを魅力あるロードにするための整備について	<p>桜のおかどめ幸福駅・おかどめ公園～谷水薬師～紅葉の麓城の散策の要となるシンボルロードを魅力あるロードに整備するために「ハナミズキ」を「桜」に植え替えることはできないか。 ハナミズキが有名で観光地となっている所は少ないが桜は国花。ビハ公園の桜やおかどめ幸福駅周辺の桜も大変美しく、多くの見学者が訪れる。 シンボルロードも桜並木に変われば石田橋も生きてくるし、旧上庁舎跡地周辺もさらに魅力ある場所に生まれ変わるのではないか問う。</p>	町長
		3 大谷翔平選手グローブの効果について	<p>大谷翔平選手のグローブが、各小学校に届いてからの利活用と子供たちにどのような効果もたらされているのか問う。</p>	教育長